

## オーストラリア 日本との園芸製品の貿易を強化

[FreshPlaza](#) 2025年4月29日

ホートイノベーション(Hort Innovation: 園芸産業のための非営利研究開発法人)の戦略的目標の1つは、国内と世界の両方の需要を喚起し、オーストラリアの園芸セクターの収益性と持続可能性を確保することである。これには、オーストラリアの園芸製品の価値の高い輸出市場での宣伝と市場アクセスの改善が含まれる。最近では、オーストラリアの園芸製品の主要市場である日本との貿易関係の強化に力を入れている。

ホートイノベーションは、戦略的な取り組みとパートナーシップを通じて、日本での業界ネットワークの構築に取り組み、オーストラリアの園芸製品を紹介し、オーストラリアの生産者の評判を高めている。オーストラリアと日本のパートナーシップは逆転した季節性により補完的であり、両国が互いの市場をサポートすることが可能である。日本はオーストラリアにとって3番目に大きな園芸製品の貿易相手国であり、2025年の輸出額は1億7,560万豪ドル(約160億円)に達すると見られる。オレンジ、マカダミアナッツ、生食用ブドウが主要な輸出品であり、それぞれ輸出の42%、13%及び13%を占めている。日本はまた、メロンやアボカド、サクランボ等、様々な青果物を輸入している。

豪日園芸展示紹介事業の一環として3月11日に開催された「日が昇る国で味わう真南の国の味(Taste of the Land Down Under in the Land of the Rising Sun)イベント」と、4月9日に開催された「オーストラリアの魅力味わう(Taste the Wonders of Australia)イベント」は、日本との関係強化の鍵であった。これらのイベントでは、輸出市場のチャンスと課題について業界や政府の関係者と話し合う円卓会議等が行われた。さらに、食品・ワインワークショップでは日本の業界の代表者にオーストラリアの料理とワインを紹介し、複数回の盛大なディナーでは100人以上の日本の参加者にオーストラリアの高級食材を紹介した。

豪日展示紹介事業は、ホートイノベーション、オーストラリア貿易投資促進庁(Austrade)及び農水林業省(DAFF)が主催し、ビクトリア州政府貿易投資局(Global Victoria)とタスマニア州政府の支援を受けていた。現在の事業は、ホートイノベーションのフロンティアズ(研究開発)事業とDAFFのオーストラリア園芸製品展示紹介助成金によって資金提供されている。オーストラリア食品ワイン協力グループの投資は、(DAFFの)農産物貿易・市場アクセス協力(ATMAC)事業の助成金によって支えられている。

日本市場の分析によると、青果物の価格が19%上昇し、日本の消費者はより価格意識が高くなっているが、依然として品質を重視している。オーストラリアの農産物は清浄で安全であると見なされており、市場での評判を高めている。世界的な不確実性の中で日本政府は安定したパートナーを求めており、季節が逆転しているオーストラリアは、日本の主要なパートナーと位置付けられている。日本では持続可能性の重要性が高まっており、オーストラリアがその持続可能性の取り組みを強調する好機となっている。「ブランドオーストラリア」のイメージを支援・強化することで、市場での製品の認知度を高めることができる。

出典: [Hort Innovation](#)